

二〇一八年十一月十九日(月)

臥牛サロン 第五回

能 敦盛 の 物語

プロデューズ

田崎 甫

(宝生流能楽師)

於 臥牛敷舞台

富士宮市粟倉南町一三二

舞台当主 高橋千洋

(富士宮市中央町在住)



田崎 甫
はじめ

出演者



葛野 りさ
かどの

シテ方宝生流職分
1988年 神奈川県生まれ、
叔父の宝生流能楽師 田崎
隆三に師事。2011年 東京
藝術大学音楽学部邦楽科
卒業、20代宗家宝生和英
の内弟子に入る。同年
「金札」で初シテ。2018
年内弟子を終え独立。富
士宮「羽衣教室」、九段
「幸宝会」を主宰。

シテ方宝生流職分
平成元年生、富山県
富山市出身。20代宗
家宝生和英に師事。
平成23年東京藝術大
学音楽学部邦楽科卒
業。平成24年「清
経」ツレにて初舞台
を踏み、平成29年
「田村」で初シテ。

臥牛サロン

11月19日(月) 18:30~ 能「敦盛」の物語

12月26日(水) 18:30~ 能「三輪」の物語 ※演目変更しました

翌1月21日(月) 18:30~ 能「田村」の物語

お稽古：臥牛敷舞台にて【個人レッスン：謡・仕舞】

11月12日(月)

11月19日(月)

12月26日(水)

お時間はお問合せ下さい。

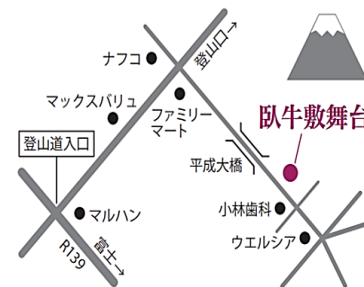
※見学歓迎

臥牛敷舞台

富士宮市粟倉南町132

臨時駐車場：裏手に隣接
の空き地

ホームページ：
田崎甫「能への一步」
<http://www.noh-ippo.jp>



- 一 ご挨拶
- 二 舞「鶉ノ段」前シテ語ヨリ
[説明・謡・舞]
- 三 舞「鶉飼」後シテ・ロンギ・キリ
[説明・謡・舞]
- 四 サロンタイム

「敦盛」(あつもり)

場所・季節 秋 撰津国須磨(神戸市)の浦
シテ 前シテ・草刈男
後シテ 平敦盛

ワキ

田崎甫「羽衣教室」お問合せ先・「臥牛サロン」お申込み

☎ 0545-38-9939 (たざき)

☎ 090-2757-0620 (たざき)

メール：hajime-noh-ippo@outlook.jp →

運営：たのじ合同会社(代表 田崎玄吾)
〒417-0047 静岡県富士市青島町195番地の3
グレース富士603号

hajime-noh-ippo@outlook.jp



シテワキ掛け合い

(ワキ蓮生法師は、敦盛を討った須磨へ赴き、草刈りの男に出会う)

シテ「真は我は敦盛の

ゆかりの者にて候なり

ワキ「ゆかりと聞けばなつかしやと

掌を合せて南無阿弥陀仏

シテ「南無阿弥陀仏

シテ・ワキ「若我成仏十方世界

念仏衆生攝取不捨

中入り

地「捨てさせ給ふなよ

一聲だにもたりぬべきに

毎日毎夜のお弔ひ

あら有難や我が名をば

申さずとても明け暮れに

向ひて回向し給へる

その名は我と言ひ捨てて

姿も見えず失せにけり

姿も見えず失せにけり

花月キリ

シテ「深き罪をも訪ひ浮かめ

ワキ「身は成仏乃得脱の縁

シテ「これ又他生の功力なれば

ワキ「日頃は敵

シテ「今はまた

ワキ「真に法乃

シテ「友なりけり

地「これかや悪人乃友をふり捨て

て善人の

敵を招けとは

御身の事か有難や

有難し有難し

とても懺悔の物語夜すがらい

ざや申さん夜すがらいざや申さん

後シテ〜クリ(導入歌)

シテ「淡路瀧

通ふ千鳥の声聞けば

寝覚も須磨の

関守は誰そ

いかに蓮生

敦盛こそ参りて候へ

ワキ「ふしぎやな鳧鐘をならし

法事をなして

まどろむ隙もなき所に

敦盛乃来り給ふぞや

儲は夢にてあるやらん

シテ「何しに夢にてあるべきぞ

現の因果を晴さん為に

これまであらはれ来りたり

ワキ「うたてやな

一念弥陀仏即滅無量の

罪障を晴さん称名の

法事を絶えせず弔ふ功力に

何の因果は荒磯海乃

月夜に横川の流が登りてきたことだ。日頃
天狗の擧げ出した葛城山の高き山ど
大峰の思ひ出た霧の天岳の中寝起きたる高き山の高
嶺に経緯の語を野に持たて諸國の嶺を
あつた松のちうの雪も積も乱れ諸國の嶺を
思はす出の深大の野も四王の嶺を
でいはる松のちうの雪も積も乱れ諸國の嶺を
白雲の國に拍の山を聞け丹波の嶺を
舞あつての鬼に城の山を聞け丹波の嶺を
も恐るるに拍の山を聞け丹波の嶺を
山の夕来はし巡りてと聞け丹波の嶺を
僧の連をす。皆さして、お修名残の憎しんこのと
に峰の郎少坊の有が、お修名残の憎しんこのと

(父と花月は、一緒に仏道の修行に旅立つ。)